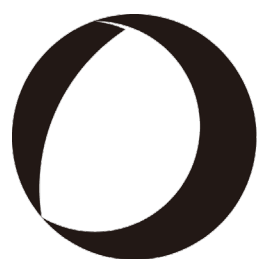


2022年度
外国人留学生入学試験要項



大同大学
DAIDO UNIVERSITY

目 次

アドミッション・ポリシー	1～4
1. 募集学科・募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 事前相談期間	6
4. 出願期間	6
5. 出願書類	6
6. 心身に障害のある場合	7
7. 入学検定料	7
8. 選考方法	7
9. 試験日および時間	7
10. 試験会場	7
11. 試験当日の注意	7
12. 合格発表	7
13. 入学手続	8
14. アパート・マンション等	8
納付金	9～10
出願から入学まで	12

本学所定の用紙

入学志願票(A票)、受験票(E票)・写真票(B票)・電信振込依頼書(C票)・振込金領収書(D票)
履歴書、志願理由説明書、身元保証書、電子郵便宛名用紙、出願封筒表紙

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、本要項に記載されている内容を変更して選抜を実施することがあります。

アドミッション・ポリシー

大同大学工学部および情報学部では、次のような人を広く求めています。

（知識・技能・思考力）

- (1) 新しいものを創ることに興味をもち、工夫することができる人
- (2) 専攻する分野を学ぶための基礎的な知識や技能を有している人

（判断力・コミュニケーション力）

- (3) 広い視野と健全な価値観をもち、決断力と行動力のある人
- (4) 豊かな感性と表現力をもつ人
- (5) 人格を尊重しあい、他者と協調できる人

（関心・意欲・態度）

- (6) 自己の能力向上に意欲をもち、将来の夢や目標を見つけない人
- (7) 目標に向かって自己を開拓する意欲を持っている人
- (8) 学科・専攻の研究領域に興味をもち、専攻する分野の勉学への熱意をもつ人
- (9) 地域や社会との関わりに興味をもち、発展に貢献したい人

＜機械工学科＞

機械工学は、「ものづくり産業」に直接的に結びついた学問です。日常の生活で利用している産業製品は機械工学という学問と科学技術の結集によってつくられたものです。機械工学科では、これらの製品および製品を生み出す機械をつくるための基礎から応用までの知識と技術を有し、自ら学び、考え、行動できる人材を養成します。加えて、産業界の最先端技術の動向、知的財産権、情報技術、環境問題などについて学び、社会人・技術者としての素養を身につけ、人間・環境に優しい機械やものづくりを創造する能力を身につけることを目標としています。

機械工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 機械のしくみ、構造、機能などを考えて、創造的な機械・製品を設計したい人
- (2) 専門分野を学ぶための基礎知識を持っている人
- (3) 広い視野と健全な価値観を持ち、それを表現し他者と協調できる人
- (4) 機械工学を通じて、自らの目標を見つけられる人
- (5) 機械工学科の理念と特色を理解し、強い興味と勉学への熱意を持つ人
- (6) ものづくりが好きで、積極的にものづくりに挑戦したい人
- (7) 地球環境問題や社会貢献に関心を持っている人

＜機械システム工学科＞

機械システム工学科では、基盤的な機械工学とともに特色あるエネルギー工学、自動車工学、航空宇宙工学、ロボット工学などの応用工学をバランスよく教育します。製図・CAD教育による機械設計技術や基礎的な電気・電子・制御技術の習得、また最先端の産業用ロボットなどを使用した実践的な学習を通して、複数の学問領域にまたがった対象を1つのシステムとしてまとめ上げることのできる「創造性豊かな」エンジニアを養成することを目標とします。

機械システム工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 機械と電気・電子技術を総合した創造性豊かな「ものづくり」に意欲的に取り組むことができる人
- (2) 機械工学や周辺技術（電気・電子工学、制御工学、メカトロニクス、プログラミングなど）の専門分野を学ぶための基礎知識や技能を持っている人
- (3) 実社会で活躍しているエネルギーシステム、自動車システム、航空宇宙システム、ロボットシステムなどに興味や関心がある人
- (4) 発見した課題や問題に対し、熱意をもって考えることができる人
- (5) 技術コンテストなど課外活動に積極的に参加する意欲のある人

＜電気電子工学科＞

電気電子工学科は、現代社会を支えるエネルギー、コンピュータ制御、ナノテクノロジーの3つの学問領域にわたる知識や技術を体系的に学び、修得することを目指しています。これら3つの専門分野を個別に学ぶのではなく、システムとして有機的に結びつけ、ハードウェアからソフトウェアまで総合的に学習し、将来の応用に備えて基礎的知識を身に付けた人材を養成します。太陽光発電、都市型風力発電システムから最先端のナノテクノロジーまで、講義と実験を組み合わせた多くの実践的な授業を通して、知識や理論を自分の目や手で実際に感じ取りながら、自然に体得できる教育を目指しています。

電気電子工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 電気電子工学科の専門分野を学ぶために必要な数学、物理の基礎学力を有している人
- (2) 電気電子工学科の専門分野に興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (3) 「ものづくり」に興味や関心がある人
- (4) 広い視野と健全な価値観をもち、決断力と行動力のある人
- (5) 新しい価値の創造に興味を持ち、その実現に向け工夫し、努力する人

＜建築学科 建築専攻＞

英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 建築専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。

建築専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野(計画、歴史、構造、材料、環境)を理解しようとする人
- (2) 目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化(デザイン化)しようとする人
- (3) 具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持つようとする人

＜建築学科 インテリアデザイン専攻＞

英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 インテリアデザイン専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。

インテリアデザイン専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野(計画、歴史、構造、材料、環境)を理解しようとする人
- (2) 目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化(デザイン化)しようとする人
- (3) 具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持つようとする人

＜建築学科 土木・環境専攻＞

土木・環境専攻では、都市に必要な施設を適切に整備するための調査・計画、設計、施工、ならびに管理の方法や、都市の抱える様々な環境問題を解決する方法等について教育します。わたしたちが安心して快適に生活するためには、道路、鉄道、空港、港湾といった交通・通信施設、川や海の護岸や堤防等の防災施設、また上下水道や電力・ガスなどの施設が必要です。さらに、都市の緑化や生物多様性の保護・復元等も重要となっています。理論や知識の教授だけでなく、まちづくりに関する実験・実習を通して、安全・安心で快適な「まち」を創造することができる技術者を養成します。

土木・環境専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 土木・環境専攻の専門分野に興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (2) 安全・安心で快適な都市環境をデザインしたい人
- (3) 自然と人工物の調和に関心がある人
- (4) 「まちづくり」の仕事がしたい人
- (5) 地図に残る「ものづくり」をしたい人

＜建築学科 かわりデザイン専攻＞

かわりデザイン専攻では、空間の快適性に密接に関係する「にほい・かわり」について学びます。人の心や生活環境における「にほい・かわり」の特性と役割、活用法などの基礎知識を身に付け、「にほい・かわり」の測定・評価技術を修得し、「にほい・かわり」を活用した豊かな生活がデザインできる能力を養成します。

かわりデザイン専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 様々なにほい・かわりに興味や関心のある人
- (2) 生活環境の様々な事象に興味や関心があり、問題点や課題を見出し、解決策を考えることに意欲的な人
- (3) 調査・実験の手順等を様々な角度から考え、組み立てることができる人
- (4) 調査・実験等にグループで協力して取り組める人
- (5) 様々な課題に対して誠実な態度で臨むことのできる人
- (6) 実験・実習に積極的に取り組むことのできる人
- (7) 生活の中の不快なにほい問題を解決し、かわりを適切に活用していきたいと考えている人

＜情報システム学科＞

コンピュータやネットワークの技術は現代社会の基盤（インフラ）となり、私たちの日常生活とすべての産業活動を根幹から支えています。そうした社会の状況を踏まえ、情報システム学科では情報技術の専門教育を通して、情報システムの作り手・使い手としての専門的な知識・技術を有する人材を養成します。

情報システム学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 将来、コンピュータやネットワークの技術者として社会に貢献したいと考える人
- (2) コンピュータやネットワークの技術に興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (3) コンピュータを動作させるプログラムに興味をもち、その習得に積極的な人
- (4) 基礎的な数学の能力をもち、物事を理論的に説明でき、問題を解決できる人

＜情報デザイン学科＞

ますます高度情報化する社会において、ビジネスを発展させたり、人の心や生活を豊かにしたりするデザインの役割が高まっており、デザインで活躍できる人が期待されています。

情報デザイン学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 身の周り、そして広く社会にある色、形、素材などに興味・関心があり、それらの組み合わせや表し方を追究することに意欲のある人
- (2) グラフィックス、音楽、映像、造形などに興味・関心があり、先進的かつ実践的な創作やものづくりに意欲のある人
- (3) コンピュータのソフトウェアの動作や仕組み、ならびに、コンピュータで動く 3D プリンタの操作など、情報機器の理解・活用に興味・関心がある人
- (4) 時代の流れや社会の様子に敏感で、他の人たちと協力して、実業界で活躍したり、社会に貢献したりすることに意欲のある人

＜総合情報学科＞

総合情報学科は、ビジネスの中核を担う企画力と実行力を有する有為な人材を養成するために、情報学、経営学、スポーツ学という三つの学びの分野を提供し、PBL（Project-Based Learning 課題解決型学習）によって実学教育の具現化に努めています。

総合情報学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 幅広い教養と専門知識を実践に活かし、自ら主体的にデータ分析・問題解決を行い企業社会の中で活躍できる人
- (2) 専門知識と経験を活かし、全社的な観点から優れたマネジメントを行うことができる人
- (3) 専門知識やマネジメント能力を、地域活性化などあらゆる社会活動の面で役立てようとする人
- (4) 活躍の場を広く求めコミュニケーション能力の向上に積極的に取り組む人
- (5) 指導力・統率力を発揮し、ビジネス・リーダーになれる人
- (6) 未知の領域に挑戦する勇気のある人
- (7) 社会へ貢献することを自分の喜びとして行動できる人

1. 募集学科・募集人員

学 部	学 科	専 攻	募集人員	
工 学 部	機械工学科		若 干 名	
	機械システム工学科			
	電気電子工学科			
	建築学科	建築専攻		
		インテリアデザイン専攻		
土木・環境専攻				
かおりデザイン専攻				
情 報 学 部	情報システム学科			
	情報デザイン学科			
	総合情報学科	経営情報コース		
		スポーツ情報コース		

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、出入国管理および難民認定法において、「留学」の在留資格を有し、独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験において本学が指定する科目の受験者で、事前相談において出願資格が認められ、次のいずれかの条件を満たす者。

なお、日本留学試験は当該年度または前年度分の成績を用いることができるものとする。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年間の課程を修了した者
- (2) 国際バカロレア資格取得者で満 18 歳に達した者
- (3) アビトゥア資格取得者で満 18 歳に達した者
- (4) フランス共和国のバカロレア資格取得者で満 18 歳に達した者

●独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験の受験指定科目

学部等名	日本語	総合科目	数学	理科			出題言語
				物理	化学	生物	
全学部学科専攻	○	—	コース 2	○	1 科目選択		日本語
建築学科 建築専攻 インテリアデザイン専攻 土木・環境専攻 かおりデザイン専攻 情報デザイン学科 総合情報学科 経営情報コース スポーツ情報コース	○	○	コース 1	—	—	—	日本語

3. 事前相談期間

2022年2月7日（月） ～ 2022年2月14日（月）

(1) 事前相談のために必要な書類を本学に持参してください。

(2) 必要書類 (注) 書類は、在留資格証明書に記載の氏名を必ず用いてください。

	書 類 名	注 意 事 項
1	志 願 票 [A票] 【本学所定用紙】	・邦文記入
2	志願理由説明書 【本学所定用紙】	・邦文記入
3	履 歴 書 【本学所定用紙】	・邦文記入
4	身元保証書 【本学所定用紙】	・邦文記入 ・日本に居住する保証人の保証書 身元保証人が日本人以外の場合は、身元保証人の住民票を添付してください。
5	住民票または 在留資格証明書	・市区町村長の交付する外国人登録済証明書（在留資格が明示されたもの）を提出してください。

4. 出願期間

2022年2月15日（火） ～ 2022年2月21日（月）消印有効

(1) 出願用封筒は、市販の角2型（A4サイズの紙が折らずに入る封筒）の表に本学所定の用紙を貼り付けしたものを使用して下さい。

(2) 出願は速達簡易書留での郵送とし、出願期間締切日の消印有効とします。

(3) 出願書類提出後の志願学科等の変更は、一切認められません。

(4) 一旦受理した出願書類は、事由のいかんを問わず返還いたしません。

(5) 身体に著しい機能障害がある場合には、出願に先立ち出願期間開始日より7日前までに必ず文書で入試室まで相談してください。

5. 出願書類 (注) 出願書類は、在留資格証明書に記載の氏名を必ず用いてください。

	書 類 名	注 意 事 項
1	受 験 票 [E票] 【本学所定用紙】	・本人の住所、氏名を明記し、志願学科と本人の氏名を記入してください。
	写 真 票 [B票] 【本学所定用紙】	・出願日より3ヵ月以内に撮影した上半身正面、脱帽、背景なしの40mm×30mmの写真写真貼付欄に貼り付けてください。
2	最終学歴の卒業（修了） 証明書	・邦文もしくは、英文証明書
3	最終出身校の成績証明書	・邦文もしくは、英文証明書

6. 心身に障害のある場合

- (1) 就学上、特別の配慮を必要とする方は、大学における学習サービスの観点から、個別に面談を実施する場合があります。
- (2) 出願に先立ち出願期間開始日より2週間前までに入試・広報室まで連絡してください。

7. 入学検定料

35,000円

- (1) 本学所定の電信振込依頼書【C票】を使用し、銀行窓口での振込に限ります。
- (2) 入学検定料を銀行から振り込む場合には、志願者が振込手数料を支払うことになります。
- (3) 写真票【B票】、振込金領収書【D票】に取扱銀行収納印があることを確認してください。
(注) 写真票【B票】に取扱銀行収納印がない場合は、受付できませんので、注意してください。
- (4) 振込金領収書【D票】は、志願者の領収書になりますので、入学検定料振込後は、切り離し、大切に保管してください。
- (5) 一旦納入した入学検定料は、事由のいかんを問わず返還いたしません。

8. 選考方法

- (1) 書類審査
 - (2) 面接試験
- (1) と (2) を総合評価して、合否を決定します。

9. 試験日および時間

試 験 日	集 合 時 間	面 接 時 間
2022年3月2日(水)	9:30	10:00~

10. 試験会場

大同大学（本学試験会場案内図参照）

11. 試験当日の注意

- (1) 受験票を必ず持参してください。
(注) 万一忘れた場合は、係員もしくは受付に速やかに申し出て、仮受験票の発行を受けてください。
- (2) 集合時間より30分以上遅れた場合は、受験できません。
- (3) 面接開始20分前までには、面接控室に入室してください。
- (4) 面接控室入室後は、係員の指示に従ってください。

12. 合格発表

2022年3月4日(金)

- (1) 合否発表は、合格発表日に合否通知書を速達郵便で本人宛に通知します。
- (2) 学内掲示による発表は、行いません。
- (3) 合否についての電話等による問い合わせには、応じません。

13. 入学手続

合格者には合格通知書、入学手続書類等を送付しますので、指定の納付金を下記の期限までに納入してください。

納入方法	納入期限	
	入学金	前期分の授業料等
一括納入	2022年3月11日（金）	

- (1) 入学手続期限までに手続をされない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (2) 納付金の手続方法は、合格者に対して送付される「入学手続案内」を参照してください。

14. アパート・マンション等

本学には、学生寮はありません。希望者については、大学周辺のアパート・マンション等を紹介します。

納付金

【工学部全学科、情報学部／情報システム学科、情報学部／情報デザイン学科】

(1) 学生納付金

(単位：円)

区 分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	入学手続時	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)
入 学 金	300,000	---	---	---	---	---	---	---
授 業 料	445,000	445,000	455,000	455,000	465,000	465,000	475,000	475,000
施設設備費	157,500	157,500	162,500	162,500	167,500	167,500	172,500	172,500
計	902,500	602,500	617,500	617,500	632,500	632,500	647,500	647,500
年 額 計	1,505,000		1,235,000		1,265,000		1,295,000	

(2) 代理徴収金

(単位：円)

区 分	1 年 次				2 年 次 以 降		
	入 会 金	会 費		年額計	会 費		年額計
		入学手続時	入学手続時		後期分	前期分	
後 援 会	20,000	10,000	10,000	40,000	10,000	10,000	20,000
学 生 会	2,000	4,000	4,000	10,000	4,000	4,000	8,000
大 学 祭	---	3,000	---	3,000	3,000	---	3,000
災害傷害保険	---	3,300	---	3,300	---	---	---
計	22,000	20,300	14,000	56,300	17,000	14,000	31,000

- (注) 1. 入学金、後援会、学生会入会金および災害傷害保険料は、入学手続時のみ徴収いたします。
2. 学生納付金の納入は、前期・後期の2回とします。
3. 入学者については、在学中ステップ制の適用により学年次ごとに定められた学生納付金を納入することになります。
4. 同窓会費は、入会金 20,000 円を 1 年次後期に、終身会費 40,000 円を 4 年次後期に別途徴収いたします。
5. 入学後、私費外国人留学生学生納付金減免を認められた者は、授業料の 10 分の 3 が後期分納入時に免除されます。

【情報学部／総合情報学科】

(1) 学生納付金

(単位：円)

区 分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	入学手続時	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)
入 学 金	300,000	---	---	---	---	---	---	---
授 業 料	345,000	345,000	355,000	355,000	365,000	365,000	375,000	375,000
施設設備費	157,500	157,500	162,500	162,500	167,500	167,500	172,500	172,500
計	802,500	502,500	517,500	517,500	532,500	532,500	542,500	542,500
年 額 計	1,305,000		1,035,000		1,065,000		1,085,000	

(2) 代理徴収金

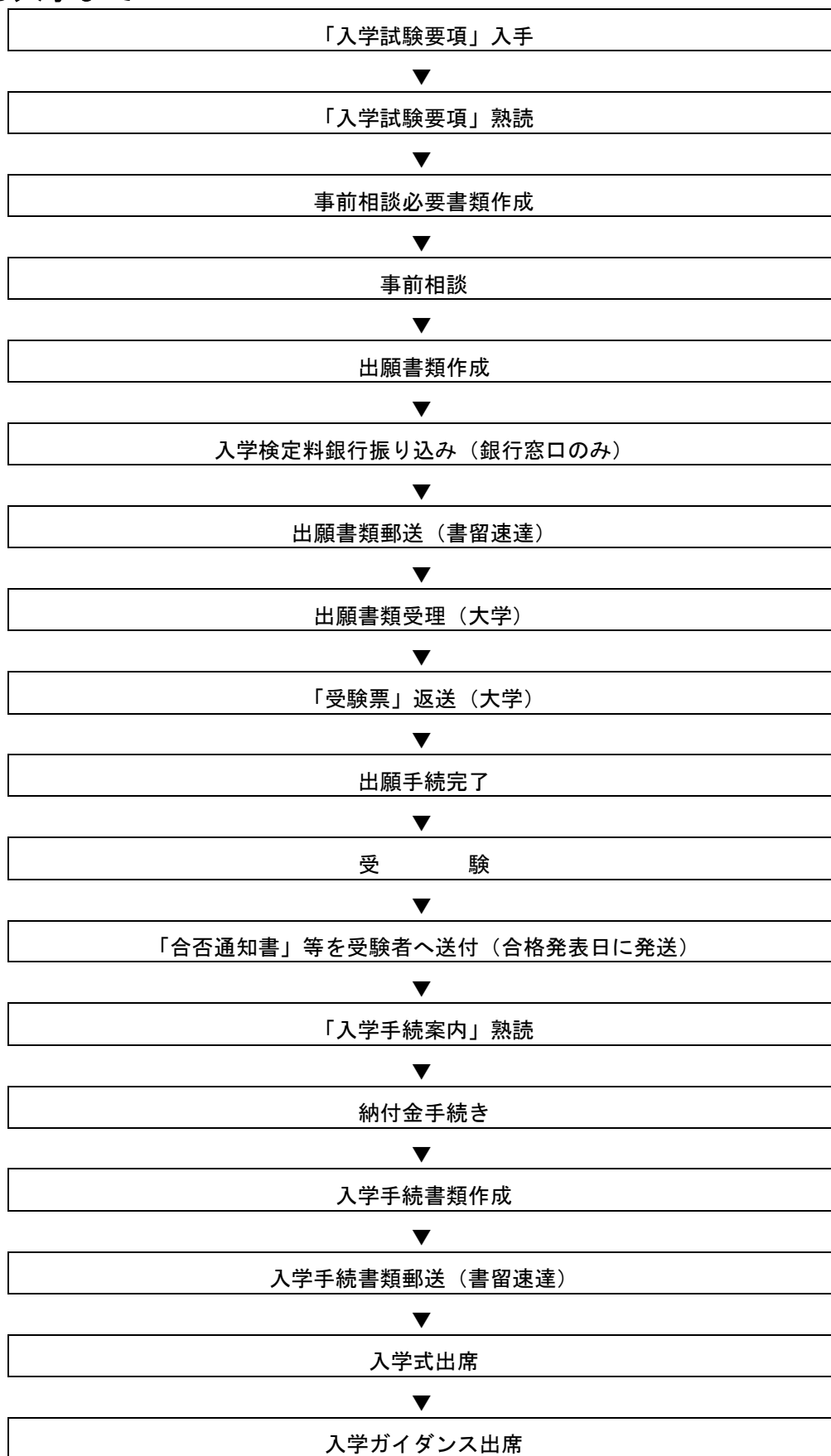
(単位：円)

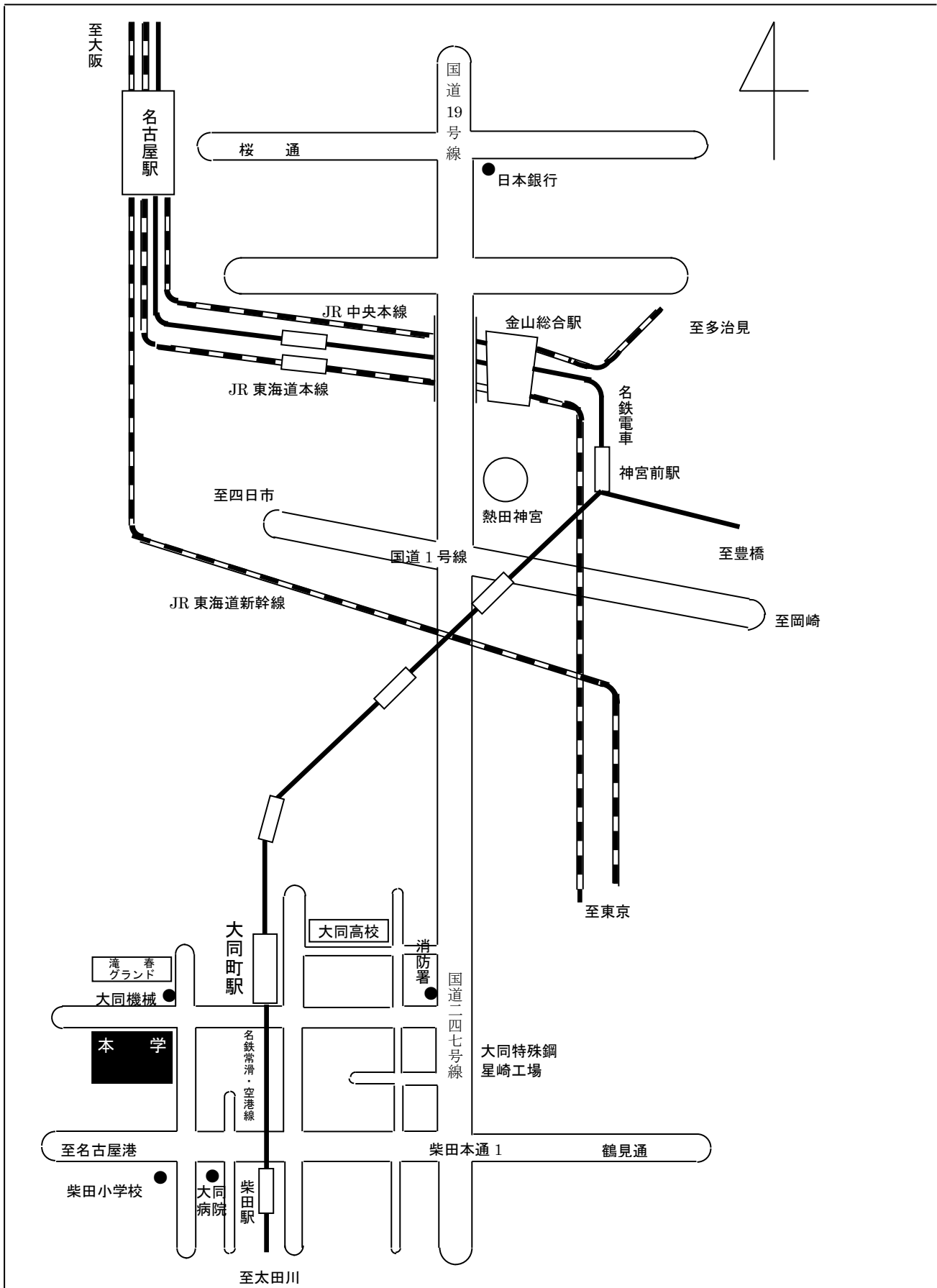
区 分	1 年 次				2 年 次 以 降		
	入 会 金	会 費		年額計	会 費		年額計
	入学手続時	入学手続時	後期分		前期分	後期分	
後 援 会	20,000	10,000	10,000	40,000	10,000	10,000	20,000
学 生 会	2,000	4,000	4,000	10,000	4,000	4,000	8,000
大 学 祭	---	3,000	---	3,000	3,000	---	3,000
災害傷害保険	---	3,300	---	3,300	---	---	---
計	22,000	20,300	14,000	56,300	17,000	14,000	31,000

- (注) 1. 入学金、後援会、学生会入会金および災害傷害保険料は、入学手続時のみ徴収いたします。
2. 学生納付金の納入は、前期・後期の2回とします。
3. 入学者については、在学中ステップ制の適用により学年次ごとに定められた学生納付金を納入することになります。
4. 同窓会費は、入会金 20,000 円を1年次後期に、終身会費 40,000 円を4年次後期に別途徴収いたします。
5. 入学後、私費外国人留学生学生納付金減免を認められた者は、授業料の10分の3が後期分納入時に免除されます。

メモ欄

出願から入学まで





■本学試験会場案内図

名鉄名古屋駅より常滑・空港線で大同町駅下車。（準急で最短12分）
 大同町駅より徒歩約3分

大同大学

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3
フリーダイヤル 0120-461-115
TEL (052) 612-6119 (直通)
FAX (052) 612-0125
ホームページ <https://www.daido-it.ac.jp/>
E-mail nyushi@daido-it.ac.jp